

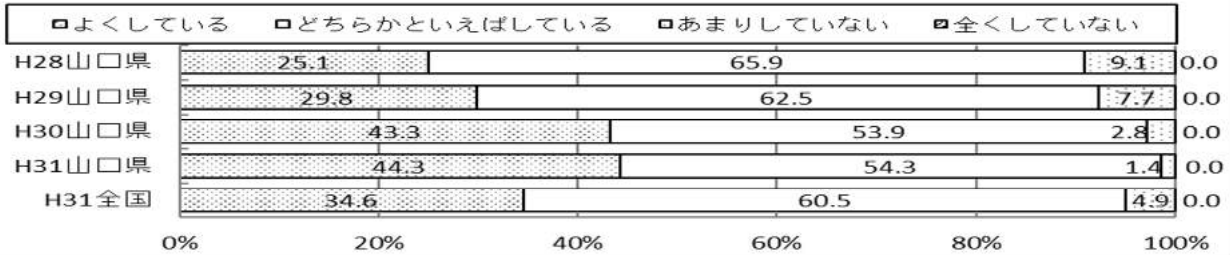
## (2) 学校質問紙

### ① 教育課程

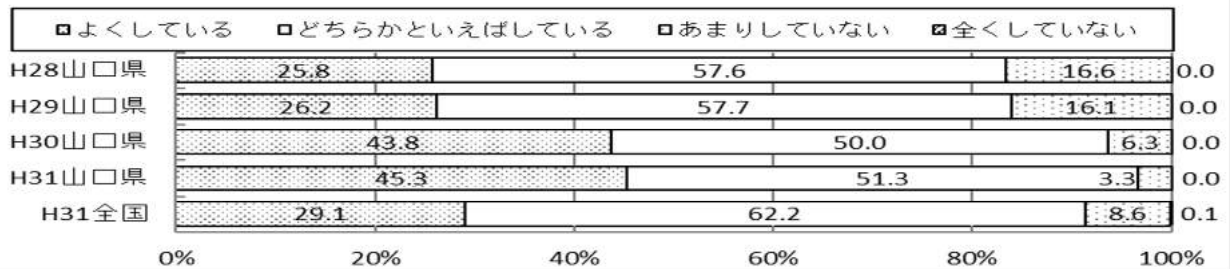
#### ア 横断的な視点で、教育の内容を組織的に配列して指導計画を作成

- 指導計画の作成に当たって、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列している学校の割合は全国と比べて高く、増加傾向にある。

**【小学校】** 15 指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列している



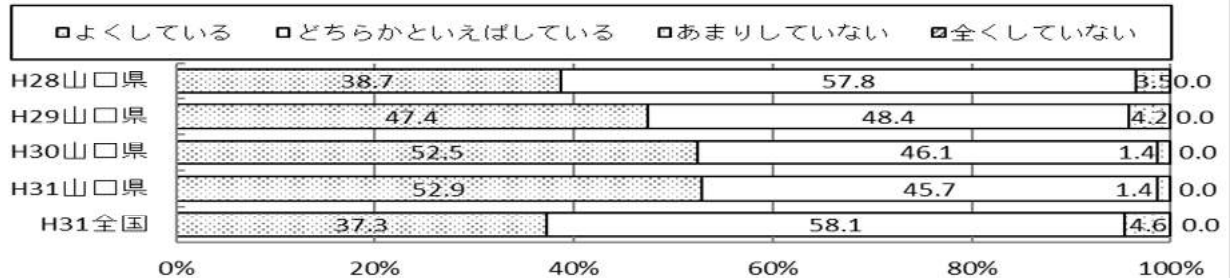
**【中学校】** 15 指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列している



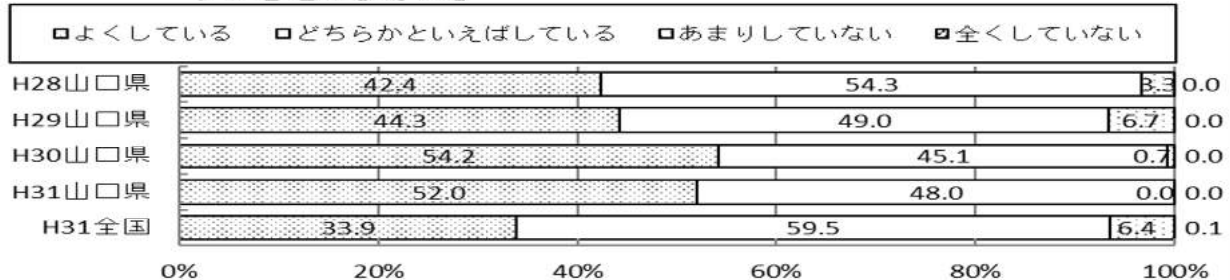
#### イ 子どもの姿や地域に関するデータ等に基づいたPDCAサイクルの確立

- 児童生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データに基づき、教育課程を編成し、実施し評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している学校の割合は、全国と比べて高い。

**【小学校】** 17 児童の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している

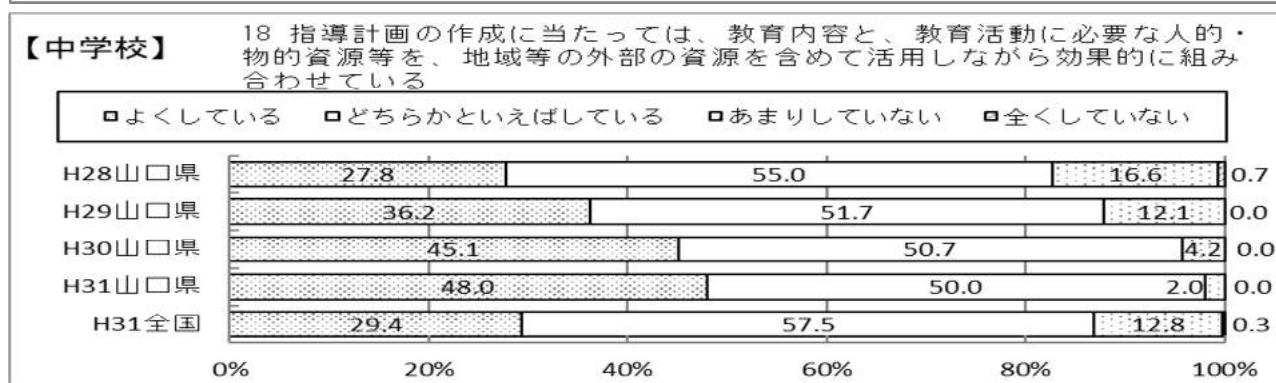
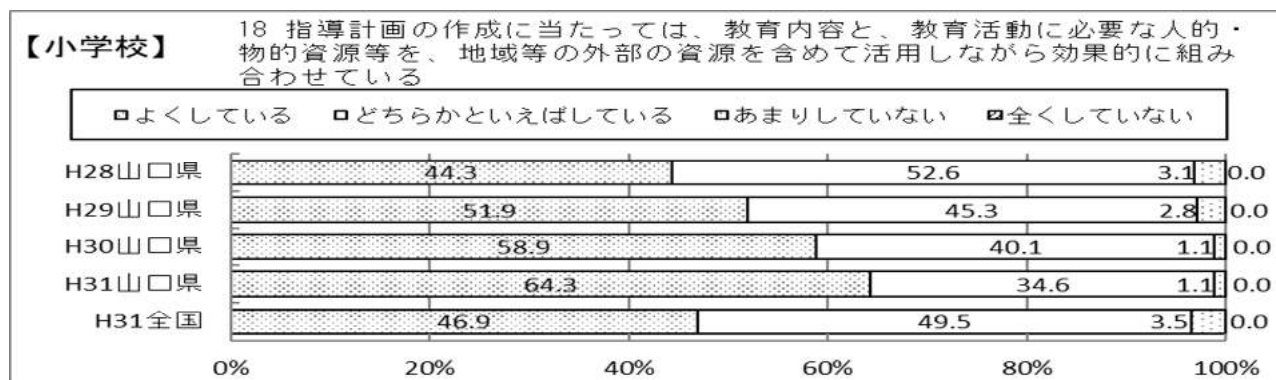


**【中学校】** 17 生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している



## ウ 地域等の外部の資源を含めた人的・物的資源を活用した指導計画の作成

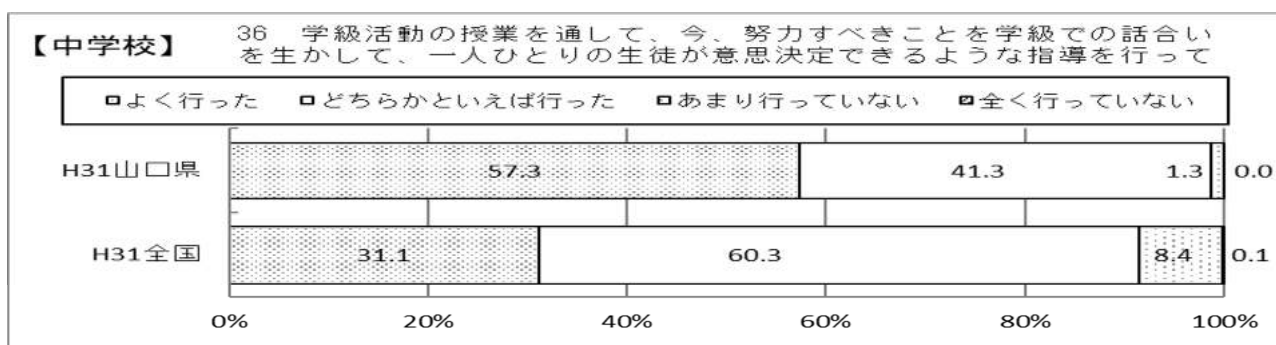
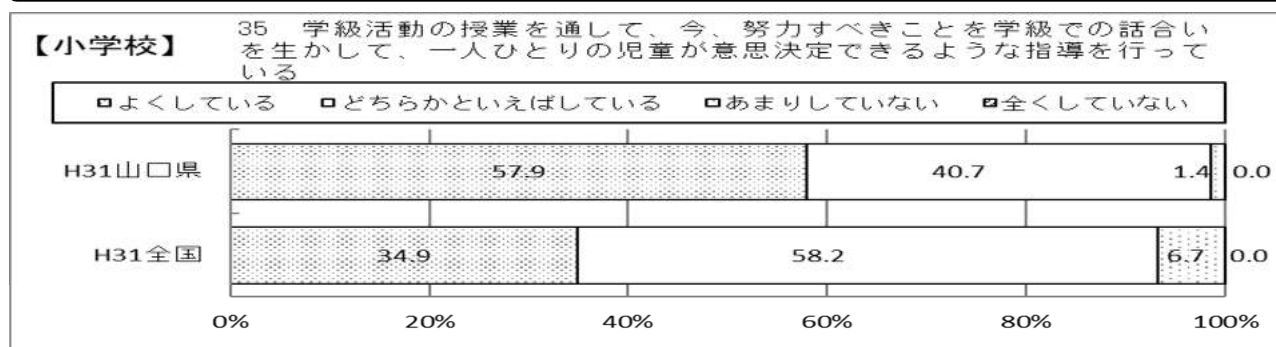
- 指導計画の作成に当たって、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせている学校の割合は、全国と比べて高く、増加傾向にある。



## ② 学習指導

### ア 学級での話し合いを生かした、児童生徒一人ひとりが意思決定できるような指導

- 学級活動の授業を通して、今、努力すべきことを学級での話し合いを生かして、一人ひとりの児童生徒が意思決定できるような指導を行っている学校の割合は、全国と比べて高い。

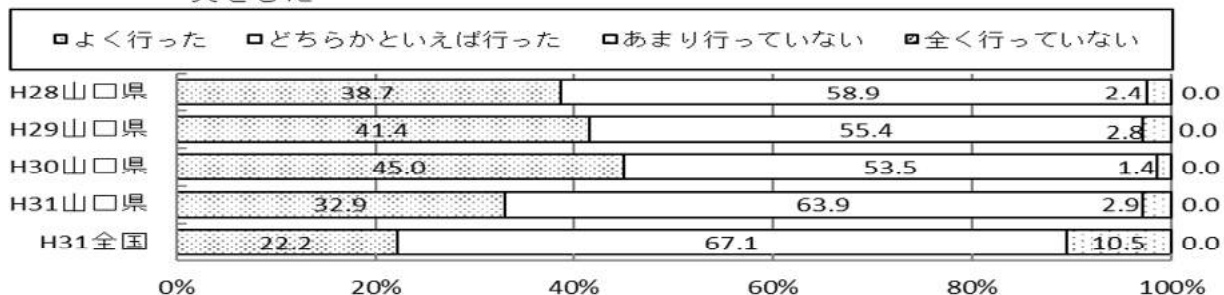


## イ 習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫

- 習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしている学校の割合は、全国と比べて高いものの、前年度より減少している。

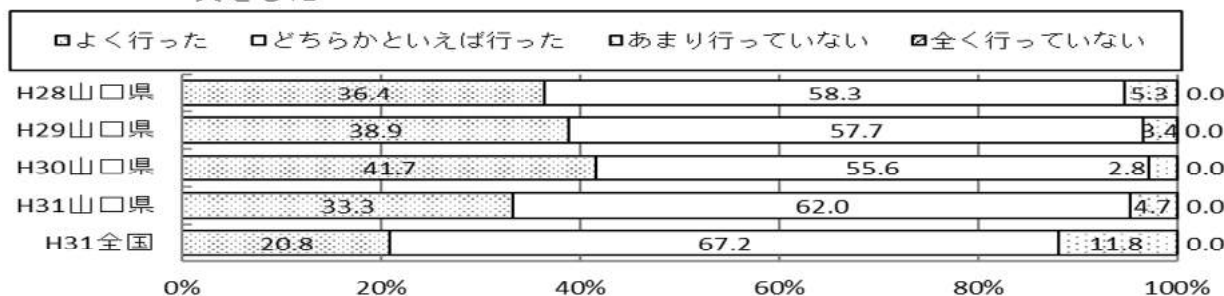
### 【小学校】

37 習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をした



### 【中学校】

37 習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をした

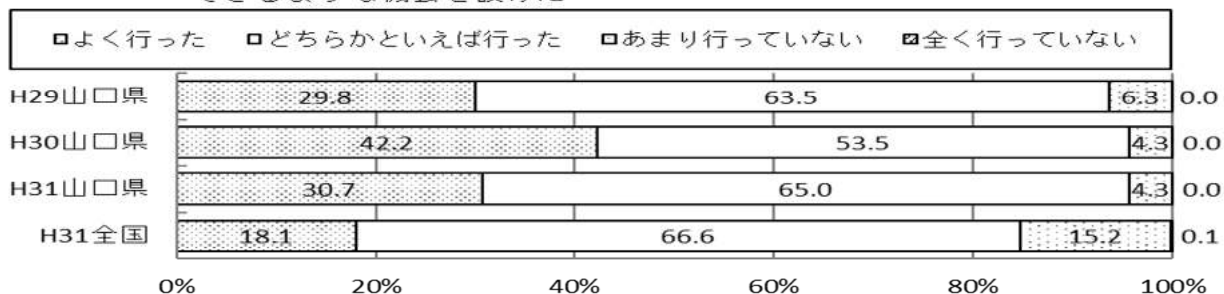


## ウ 各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会の設定

- 各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けた学校の割合は全国と比べて高いものの、特に小学校において前年度より減少している。

### 【小学校】

38 各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けた



### 【中学校】

38 各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けた

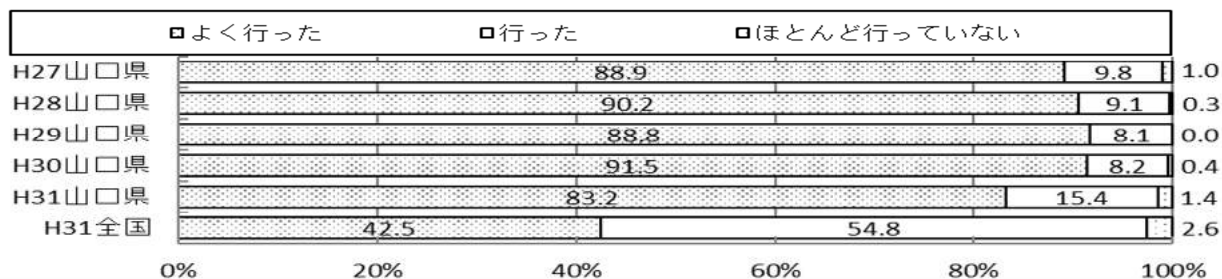


## エ 学校全体で教育活動を改善するための調査結果の活用

- 平成30年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用した学校の割合は、全国と比べて高いものの前年度より減少している。

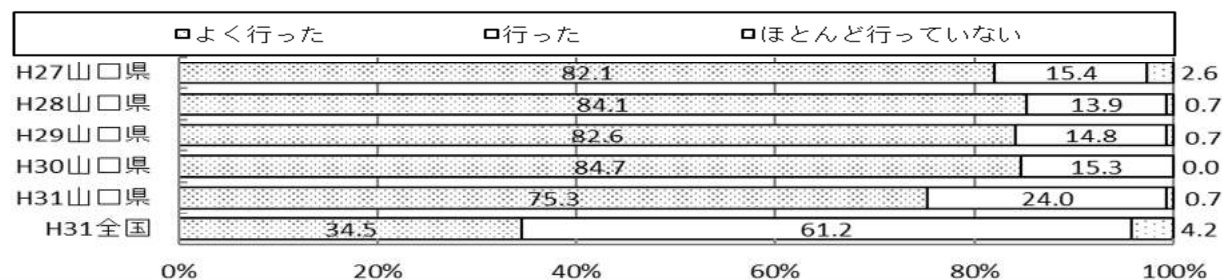
### 【小学校】

63 平成30年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用した



### 【中学校】

79 平成30年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけでなく、学校全体で教育活動を改善するために活用した

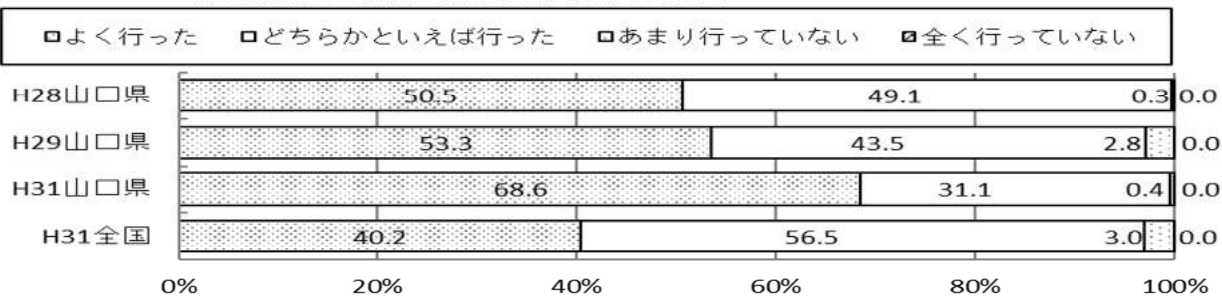


## オ 道徳の時間における考え、話し合う指導

- 特別の教科 道徳の時間において、児童生徒自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合う指導をした学校の割合は、全国と比べて高く、増加傾向が見られる。

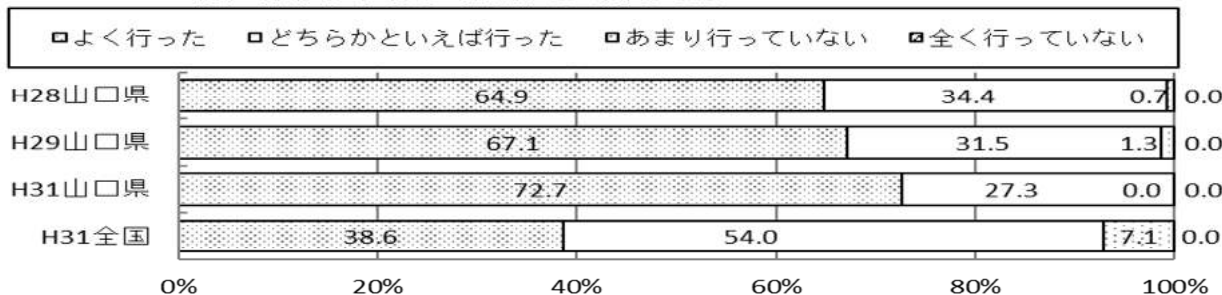
### 【小学校】

36 特別の教科 道徳の時間において、児童自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合う指導をした



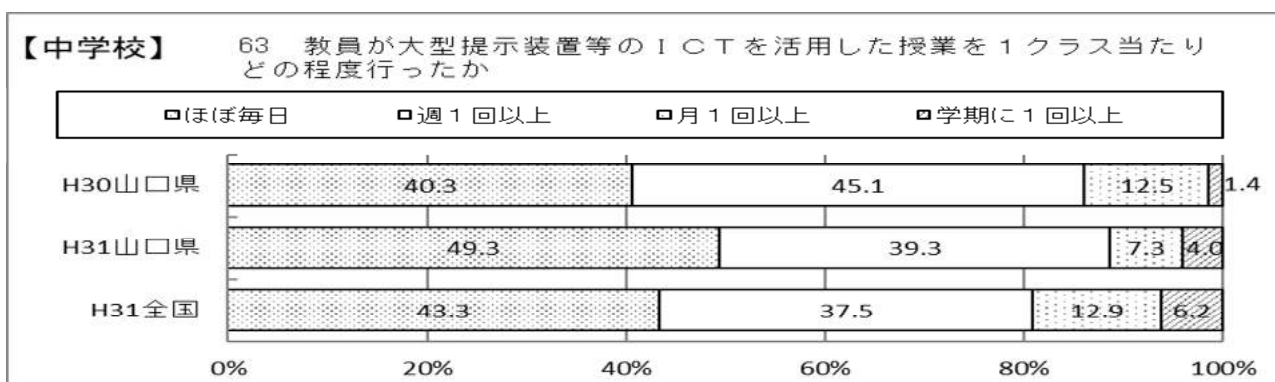
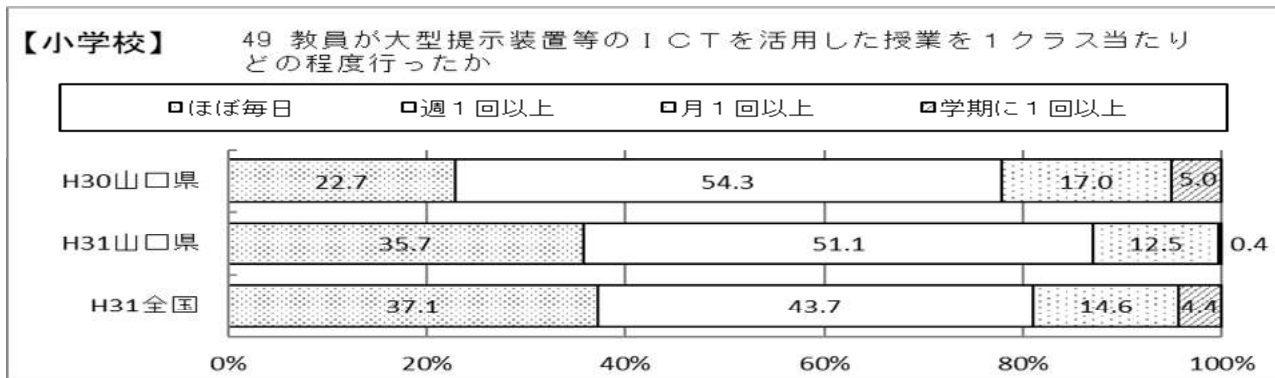
### 【中学校】

39 道徳の時間において、生徒自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をした



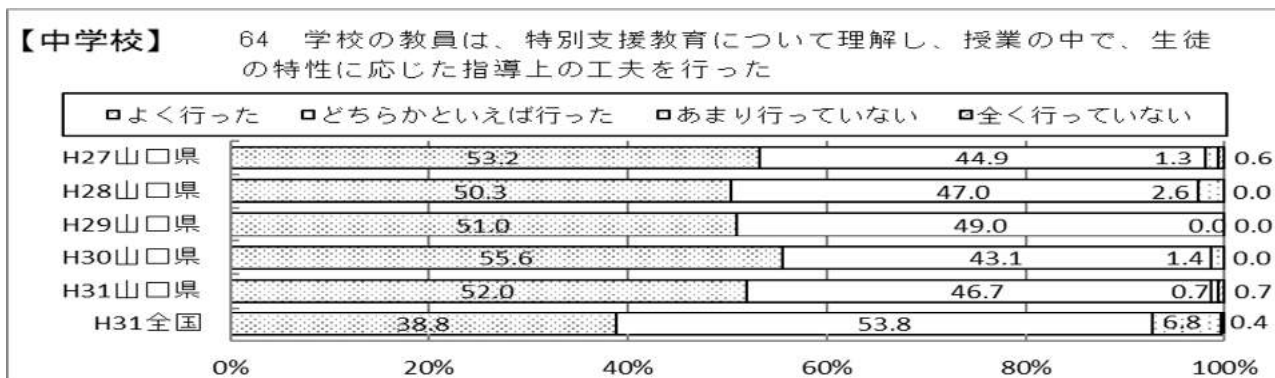
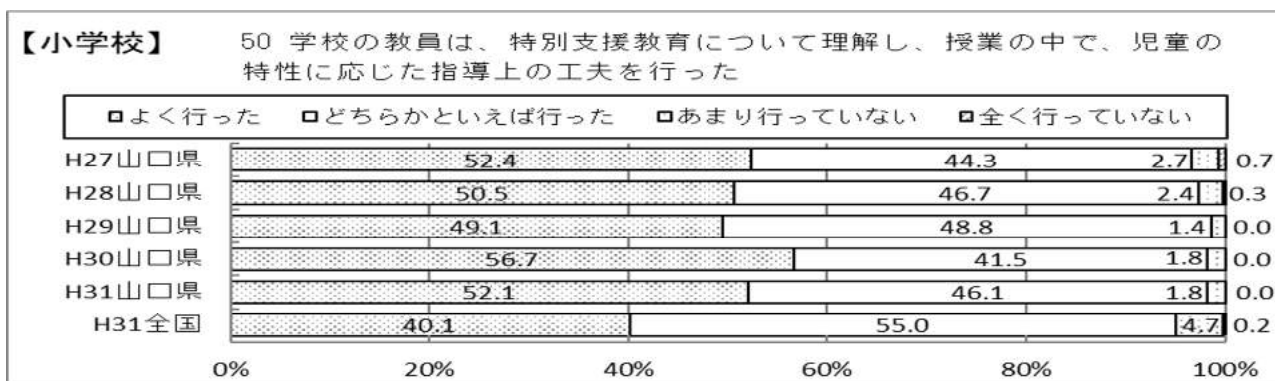
## カ ICTを活用した授業の実施

- 教員が大型提示装置等のICTを活用した授業をほぼ毎日行っている学校の割合は、前年度より増加している。



## キ 特別支援教育についての理解と、児童の特性に応じた指導の工夫

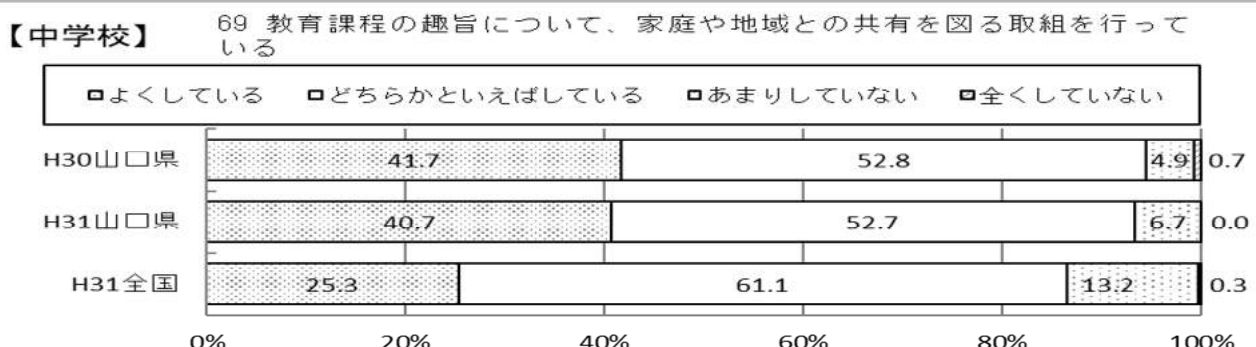
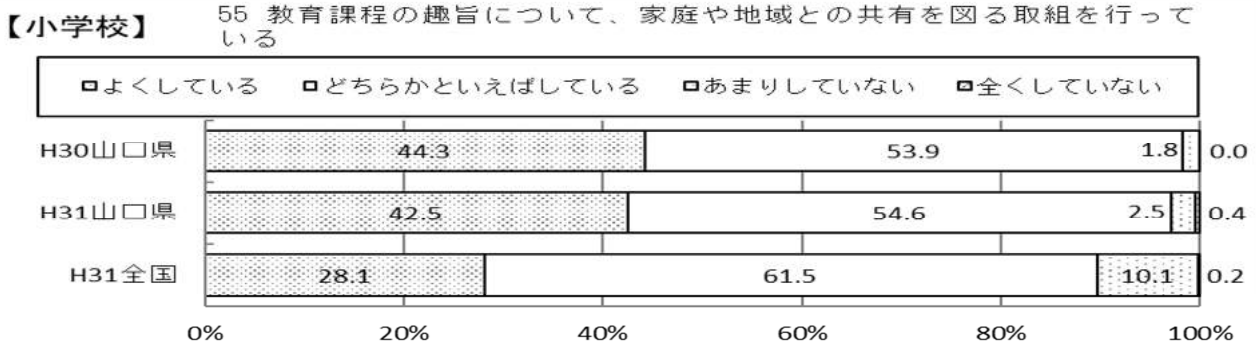
- 教員が、特別支援教育について理解し、授業の中で、児童生徒の特性に応じた指導上の工夫を行った学校の割合は、全国と比べて高いものの、前年度より減少している。



### ③ 地域との連携

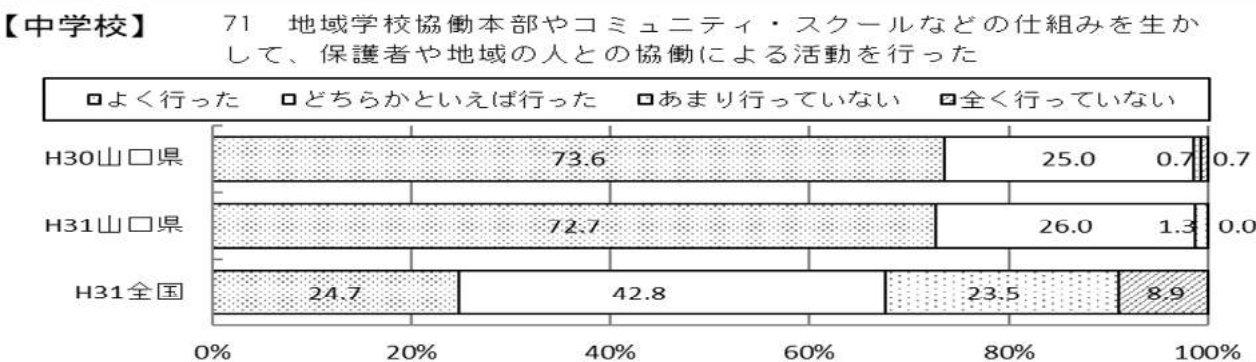
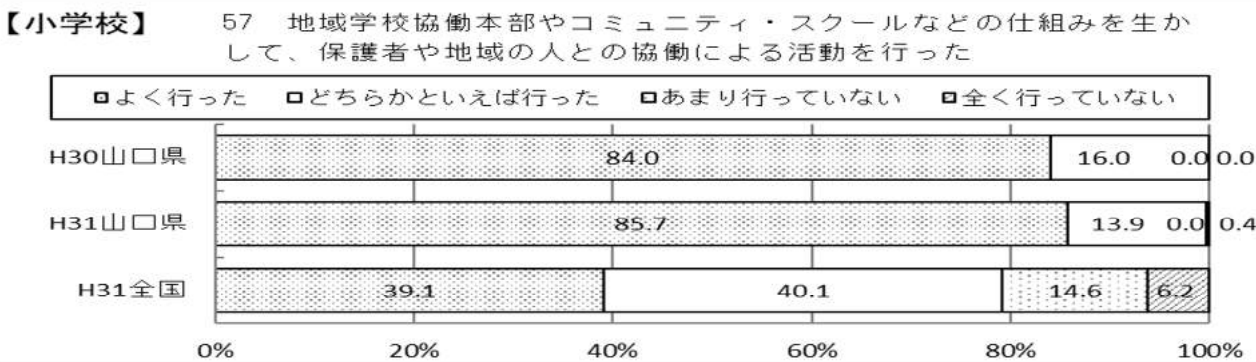
#### ア 教育課程の趣旨について、家庭や地域と共有する取組

- 教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っている学校の割合は、全国と比べて高いものの、前年度より減少している。



#### イ 保護者や地域の人との協働による活動の実施

- 地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、保護者や地域の人との協働による活動を行った学校の割合は、全国と比べて高い。

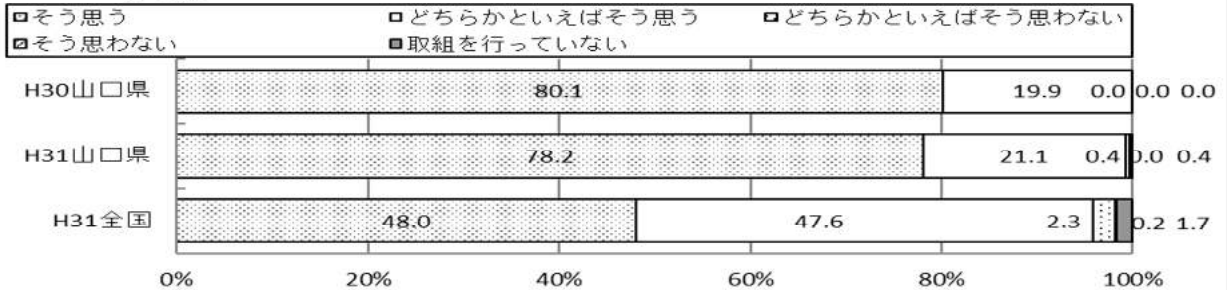




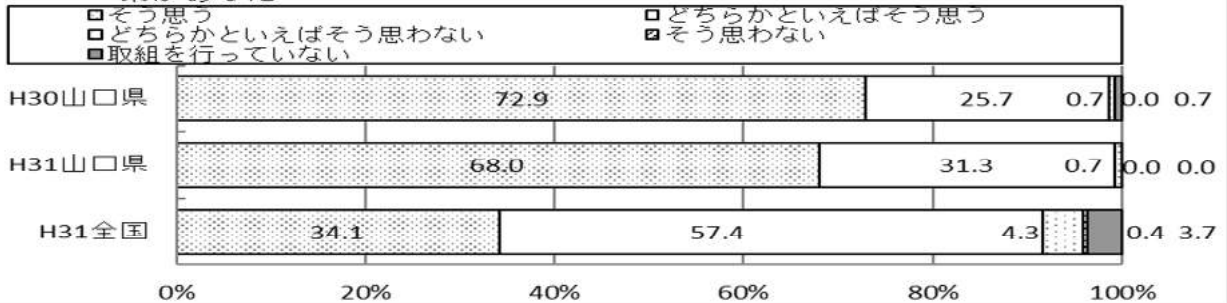
## ウ 学校の教育水準の向上への効果

- 保護者や地域の人との協働による取組は、学校の教育水準の向上に効果があった学校の割合は、全国と比べて高いものの、前年度より減少している。

【小学校】 58 保護者や地域の人との協働による取組は、学校の教育水準の向上に効果があった



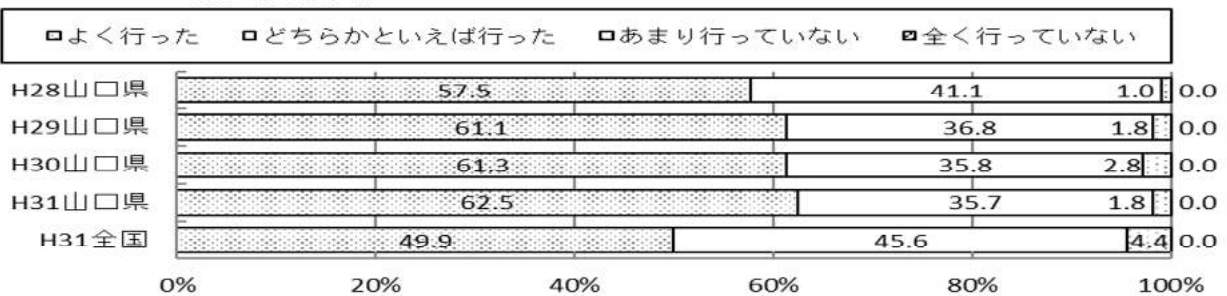
【中学校】 72 保護者や地域の人との協働による取組は、学校の教育水準の向上に効果があった



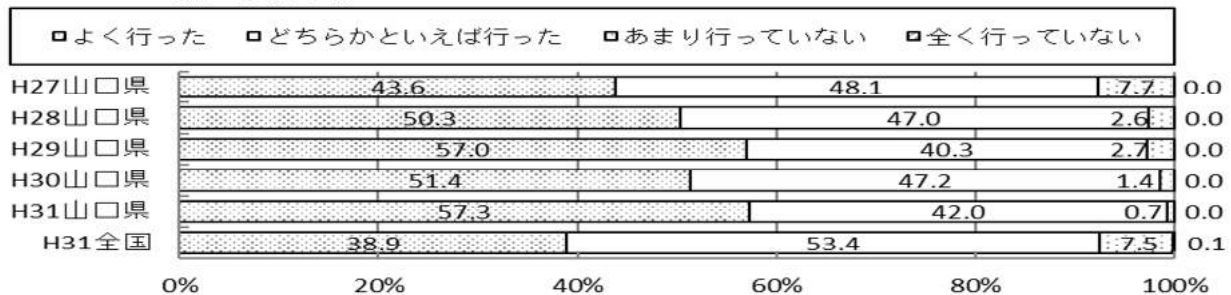
## エ 家庭での学習方法等の具体的な説明

- 家庭学習の取組として、児童生徒に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えた学校の割合は、全国と比べて高い。

【小学校】 60 家庭学習の取組として、児童に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教える



【中学校】 74 家庭学習の取組として、生徒に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教える



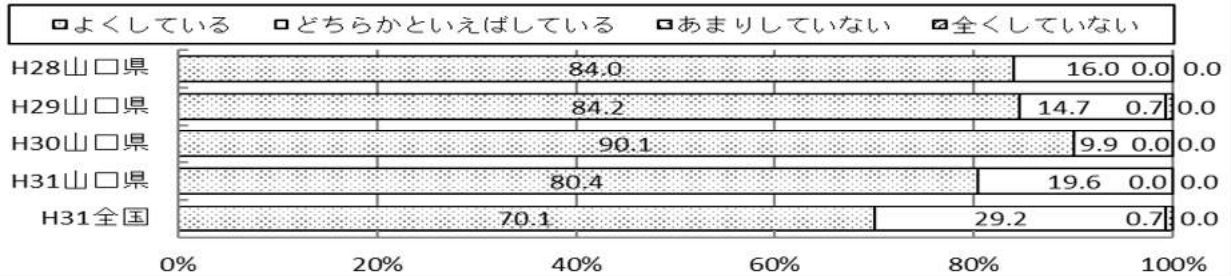
#### ④ 教員研修・教職員の取組

##### ア 校内研修の実施計画と整備と、組織的、継続的な研修の実施

- 校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行っている学校の割合は、全国と比べて高いが、前年度より減少している。

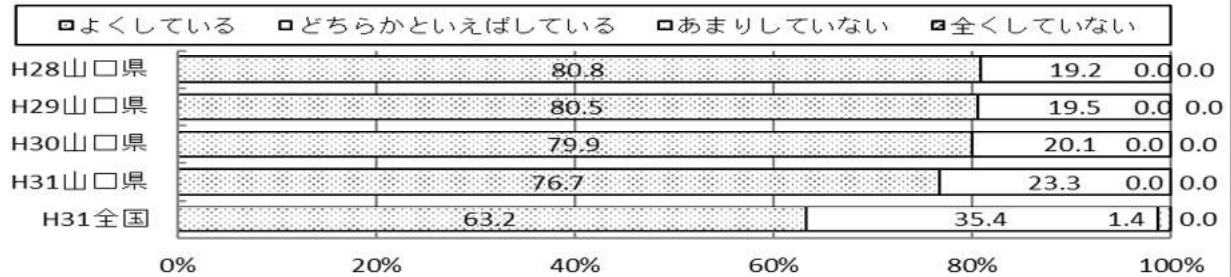
###### 【小学校】

22 校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行っている



###### 【中学校】

23 校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行っている



##### イ 校内外の研修や研究会に参加した成果を教育活動に積極的に反映

- 教職員が校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させている学校の割合は、全国と比べて高いものの、前年度より減少している。

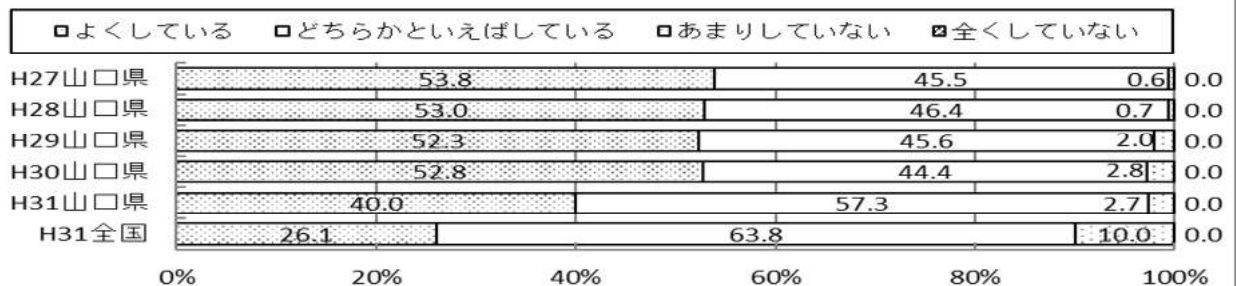
###### 【小学校】

27 教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させている



###### 【中学校】

28 教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させている

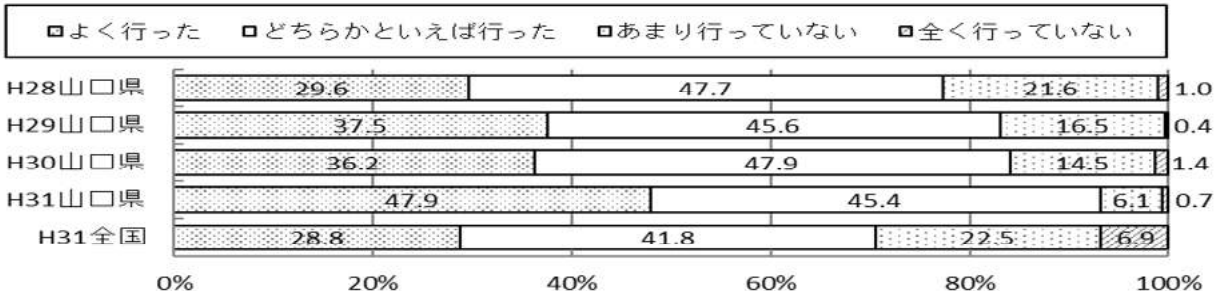




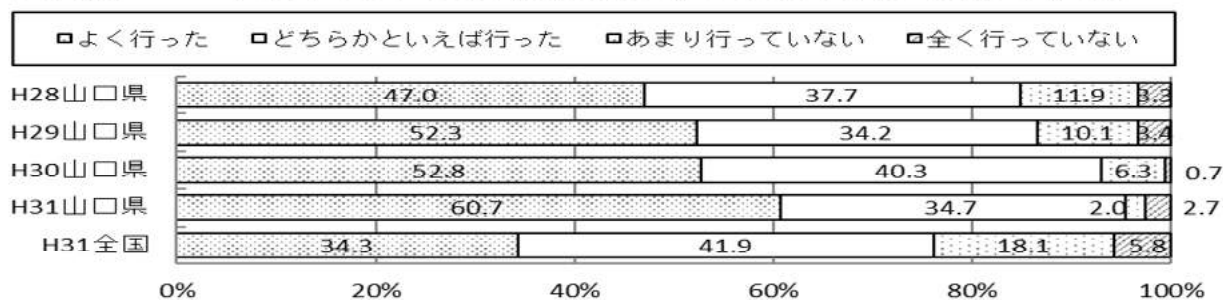
## ウ 近隣等の小（中）学校との合同研修会の実施

○ 近隣等の小（中）学校と、授業研究を行うなど、合同して研修を行っている学校の割合は、全国と比べて高く、前年度より増加している。

【小学校】 52 近隣等の中学校と、授業研究を行うなど、合同して研修を行った



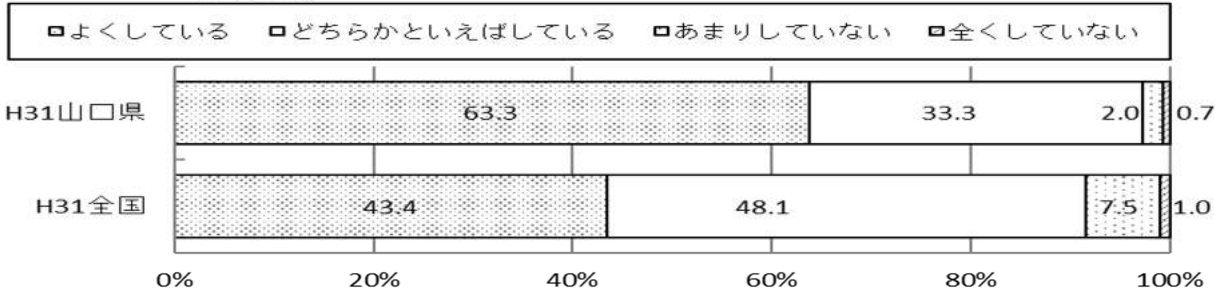
【中学校】 66 近隣等の小学校と、授業研究を行うなど、合同して研修を行った



## エ 部活動のあり方の見直し（中学校のみ）

○ 部活動のあり方について、保護者や地域と連携して見直しを進めている学校の割合は、全国と比べて高い。

【中学校】 22 部活動のあり方について、保護者や地域と連携して見直しを進めている



### 3 学力向上に向けた今後の取組

県教委、各市町教委、各学校が連携して、以下の二つに取り組む。

- ◆「やまぐち型地域連携教育」による家庭や地域との連携・協働を基盤として、「学校の組織力の充実」「教員の授業力の向上」「学校・家庭・地域の連携力の強化」の三つの視点から、それぞれの取組を推進する。
- ◆新学習指導要領の趣旨を踏まえた教育活動の更なる充実を図り、子どもたち一人ひとりの確かな学力の定着と向上を図る。

は今回の調査結果に関連する部分

#### 学校の組織力の充実

- ◆全校体制によるカリキュラム・マネジメント
  - ・教育課程説明会、管理職教育課程研修会、教育課程研究指定校研究発表会等の成果復伝、教育活動への積極的な反映
- ◆全校体制による年間2回の検証改善サイクルの活用
  - ・全国調査と学力定着状況確認問題の活用による課題解決に向けた取組の検証、改善
- ◆分析結果を活用した課題の焦点化と課題解決
  - ・調査結果の分析結果による、研修の改善、学力向上に向けた取組の充実、学び直しや家庭学習の充実等の推進
- ◆校内研修の活性化による組織的な授業改善
  - ・校長のリーダーシップによる、組織的・継続的な研修の推進
  - ・「学習指導要領の手引き」等、県教委作成資料の活用、小学校における授業交換や専科指導の活用による教科担任制の推進、中学校における生徒による授業評価の推進等
- ◆きめ細かな指導体制づくり
  - ・35人学級化や少人数指導加配等の配置を活用したきめ細かな指導（よいところを認める、分からないところを教える等）の充実
  - ・全教職員や地域人材の活用による組織的な補充学習の促進

#### 教員の授業力の向上

- ◆「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざした授業改善
  - ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善実践研究事業の推進と成果の普及
  - ・習得、活用、探究の学習過程の機会の設定、話し合いで考えを深め広げる力や、身に付けたことを他の学びに生かしたりする力の育成に向けた指導の充実
  - ・特別支援教育について理解し、児童生徒の特性に応じた指導の工夫
- ◆教科の専門性やキャリアステージに応じた研修
  - ・若手・中堅・管理職を対象とした各研修会の成果の復伝、教育活動への積極的な反映
- ◆やまぐち総合教育支援センターとの連携
  - ・「やまぐち総合教育支援サイト」等の学習指導用資料の活用促進
- ◆校内研修等の充実による授業改善
  - ・学力向上推進リーダー等を活用した校内研修の充実
  - ・英語教育推進教員、小学校英語専科教員を活用した、統合的な英語力の育成や意欲向上に向けた授業改善

#### 学校・家庭・地域の連携力の強化

- ◆「やまぐち型地域連携教育」の仕組みの活用
  - ・学校運営協議会における、学力課題の共有や課題解決のための熟議の促進
  - ・地域の子どもの自己肯定感の向上、いじめ撲滅、読書活動の推進等に向けた啓発活動の充実
  - ・地域人材の参加によるユニット型研修の促進
  - ・教育課程の趣旨の共有及び、地域連携による学校教育水準の向上の検証、改善
  - ・（中学校のみ）部活動改善の方針の共有
- ◆情報共有による学習習慣の確立
  - ・PTA組織や家庭への情報提供等による連携強化、学力分析支援ツールによる個人票の活用による、家庭学習（時間の確保、自分で計画を立てる等）習慣の向上
  - ・補充学習等における「やまぐちっ子学習プリント」の活用促進
- ◆異校種間連携の充実による学習環境づくり
  - ・小中連携授業力向上実践研究校、小中高連携英語教育推進校・連携校による研究の推進
  - ・小中連携カリキュラムや地域連携カリキュラム作成等による小中一貫教育の推進